

みんなで守る
地域の未来Project



Save Our Future News

発行者
愛媛県立松山工業高等学校
防災リーダー・グローバルスタディ
〒790-0021
愛媛県松山市真砂町1番地
TEL089-931-8195
FAX089-931-8860

地域防災
× SDGs
× デザイン



地域防災×SDGsの活動を毎月新聞でお伝えします!!



本校では、6年前から防災活動に取り組んでいます。令和元年からは、全校生徒が地域の方や松山市・愛媛大学や松山大学等と連携し、地域防災に取り組んでいます。現在、2年生8名・3年生10名の18名が所属しています。(1年生は募集中)

おもな活動内容は、防災減災についての勉強会や各地区で行われる防災訓練への参

加も防災リーダーの活動に参

加してみませんか?

SDGs de 地方創生力カードゲーム体験会について学習しています。昨年度からは、SDGs de 地方創生力カードゲーム体験会を実施しています。昨年度から、SDGs de 地方創生力カードゲーム体験会を実施しています。

本校には現在、防災士の資格を持っている生徒が4名、先生が9名います。地域の方だけでなく、校内でも防災の意識を高める活動を行いたいと思いますので、皆さん協力をお願いします。

本校は昨年度から、松山市の防災協力事業所として認定を受けています。

「防災協力事業所」とは、防災士の養成や防災訓練など松山市の防災対策に協力いただいている事業所で、認定特定非営利活動法人日本防災士機構が認証し、表示証を交付しています。

この表示表は事務室前にあります。

松工は防災協力事業所です!!

地域防災に取り組んでいます

SDGsって知っていますか？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



最近左図のような標識やポスターを見ることが多くなったと思いませんか？下の写真は、松山の市駅に先月貼っていたポスターです。松山市は、令和2年度から「SDGs未来都市（33都市）」及び「自治体SDGsモデル事業（10事業）」に選定されているのを皆さんご存じでしたか？

この事業は、平成30年度から、内閣府が自治体によって選定しているもので、優れた取組みを促進するため、優れた取組みを提案した都市を「SDGs未来都市」の中でも特に独創性が高く、先導的な特徴を選定しているものです。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大のためなかなか活動ができなかつたそうです。本校は、地域を担う技術者を育成することを目標にしている実業高校です。地方創生と地域防災の面からいろいろ協力していきたいと思っています。

本校は、今年度から松山市を応援しています。松山市に協力するためSDGs推進協議会に所属しています。

SDGs推進のため松山市に協力しています！

者を育成することを目標にしている実業高校です。地方創生と地域防災の面からいろいろ協力していきたいと思っています。

防災リーダー募集



現在、新1年生を中心とした防災リーダーを募集します。地域創生にかかわります。地域創生にかかる力、「自分でも考えみんなと協働し新しいことを創造する力」を身に付けよう!!



SDGs de 地方創生カードゲーム参加者募集

現在、全校生徒と教員の皆さんにSDGs de 地方創生カードゲーム体験に参加してくれる方を募集しています。今まで1月から4月末までに6回の体験会を実施しました。現在は新型コロナウイルス感染症の拡大により他校や校外の方との体験会は実施できませんが、今後企業方やNPO法人、松山市や商工会議所の皆さんとも予定です。楽しくSDGsについて学びませんか？

現在、全校生徒と教員の皆さんにSDGs de 地方創生カードゲーム体験に参加してくれる方を募集しています。今まで1月から4月末までに6回の体験会を実施しました。現在は新型コロナウイルス感染症の拡大により他校や校外の方との体験会は実施できませんが、今後企業方やNPO法人、松山市や商工会議所の皆さんとも予定です。楽しくSDGsについて学びませんか？

SDGs 17の目標



～より良い未来への目標～

持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)とは、10年に策定された「アム」開発目標(MDGs)の後継として、加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための30アジェンダ」に記載された「持続可能な開発目標」です。17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニーク(普遍的)なもので、日本としても積極的に取り組んでいます。人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。このままでは、人が安定してこの世界で暮らしが続けることができなくなってしまうことが言われています。そんな危機感から、世界中の様々な立場の人々が話し合って、SDGsを考へて、30年までに達成すべき具体的な目標を立てた。それが「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals...SDGs)」なのです。



ものづくりに関するゴール

8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を

では、ものづくりに関係する「ゴール」とは何番でしょうか？いろいろな考え方がありますが、9番を中心に8番12番13番あたりが重要ではないかと思います。世界では電気やガス、交通インターネットなどまだまだ使えないところがたくさんあります。日本の技術で世界に貢献できることがあります。たとえば、「SDGs 12.つくる責任、つかう責任」は「持続可能な消費と生産のパターンを確保する」ということがテーマです。現在の大きな問題点のひとつとして、食品ロスや有価物の投棄が挙げられます。こうした問題を解決するために、より少ない資源により多くの良質なものを世界中の人々が享受できる持続可能な生産・消費の形態の実現が求められています。

具体的に「つくる責任」として、生産者側には高品質な資源開発生産過程での廃棄物抑制や化学物質放出量低減、消費者へのリユースやリサイクルの呼びかけなどが求められています。一方で「つかう責任」として、消費者には無駄遣いの撲滅リユースやリサイクル生産者がから提供された資源を最大限有効活用していくことなど

主人公はわたしたち

SDGsは世界全体で取り組む大きな目標ですが、その達成のために、わたしたち一人ひとりが意識し行動していくことが不可欠です。11のターゲットに明言されているような企業や業種に関わっている場合は、仕事を通してできることがあります。何か無駄はないか、資源の有効活用やその取り組みの発信などができることがあります。普段の生活を見直してみましょう。

③持続可能な製品を購入

SDGsの12番「つくる責任、つかう責任」の中でも大きな問題のひとつのが食品ロスです。日本の食品ロスは年間約600万トン以上あるといわれています。食品ロスを減らすには、食べ物を買い過ぎないことにします。まずは、買物をする段階で期限や消費期限を正しく理解して、確認して食品を選ぶ」といふことです。

また、ペットボトル飲料を毎日購入しているという人も少なくないでしょう。こうしたペットボトルの代わりに、マイボトルを持参するのもSDGsに貢献しているといふのです。

SDGsは世界全体で取り組む大きな目標ですが、その達成のために、わたしたち一人ひとりが意識し行動していくことが不可欠です。11のターゲットに明言されているような企業や業種に関わっている場合は、仕事を通してできることがあります。何か無駄はないか、資源の有効活用やその取り組みの発信などができることがあります。また、普段の生活においては誰もが消費者もあります。無駄な買い物やエネルギーの浪費をしていないか、リサイクルやリユースに取り組んでいるなど普段の生活を見直してみましょう。

昨年度の防災活動に積極的に参 加したとして、3年織維科の矢野心愛さんが松山市ジユニア防災リーダークラブから優秀者として表彰されました。

防災活動優秀者に選出されました!!

千葉工業大学などが主催する防災減災×サステナブル大賞にて本校の「遠隔授業」が「(国)ティ賞」を受賞しました。

防災・減災×サステナブル大賞コミュニティ賞を受賞しました!!

防災・減災×サステナブル大賞アカデミー&ジュニアアカデミー部門「Community Award」の受賞者として、矢野心愛さん(松山市ジユニア防災リーダークラブ)が表彰されました。



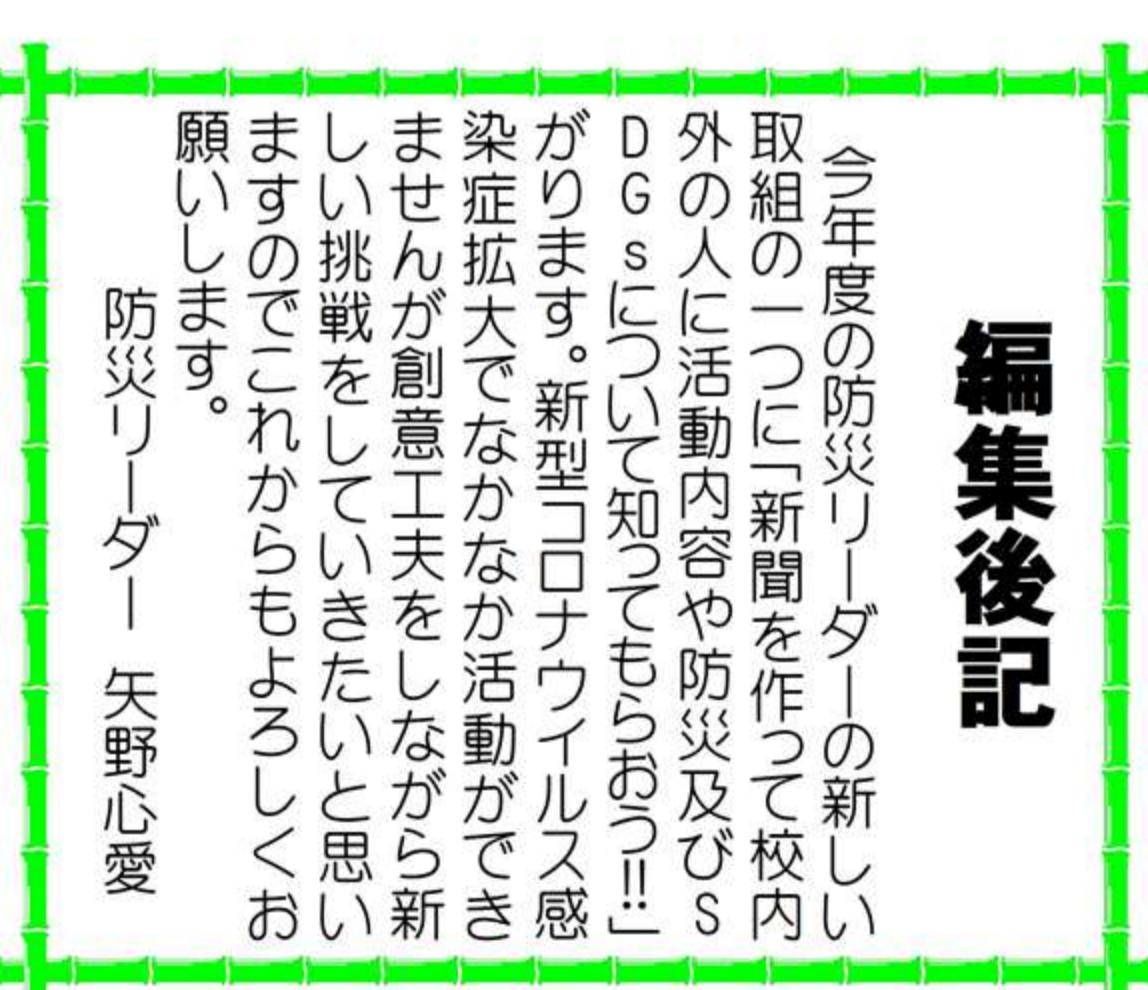
MSC認証:環境に配慮し持続可能な方法で獲られた水産物



GOTS(オーガニック・テキスタイル世界基準):環境や社会に配慮されて作られた繊維製品



FSC・認証:適切に管理された森林の木材からできた製品



編集後記

今年度の防災リーダーの新しい取組の一つに「新聞を作つて校外の人々に活動内容や防災及びSDGsについて知つてもらおう!!」がります。新型コロナウイルス感染症拡大でなかなか活動ができませんが創意工夫をしながら新しい挑戦をしていきたいと思いますのでこれからもよろしくお願いします。

防災リーダー 矢野心愛